本協議会の基本的方向性（案）

【確認事項】

- ① 但馬地域の医療提供体制は危機的状況にあり、地域医療機能確保のために、急性・慢性期の医療機能を分担するとともに、地域の状況に応じた思い切った集約化・重点化を図ることが不可欠である。
- ② 医師会、看護協会、医育機関等の関係者の理解と協力のもと、総合的な医療の提供体制を確立するとともに、医療機能の集約化・重点化によってのみ、但馬の医療が確保できることについて、住民や医師、看護師など医療従事者の理解を得ることが必要である。
- ③ 集約化・重点化を支援する搬送システムや医療資源確保のための地域の一体的取組が重要である。
- ④ 本日集まった関係者のこうした共通認識のもとに、本協議会の結論に従って、迅速に実行に移すこととする。

本協議会の協議事項の確認（案）

- ① 急性期及び慢性期医療に対応した病院の機能分担
 - ・病院の集約化、重点化案の提示
- ② 連携手法
 - ・運営主体の検討
 - ・代診医の活用を含む医師派遣（交流）の具体案の提示
 - ・オープンベッド、オープン外来による診病連携の具体的手法
 - ・訪問看護ステーションとの連携の具体的手法
 - ・総合診療体制の構築
- ③ 医療資源確保のための一体的取組
 - ・医療資源の適正な配置など医療資源確保に向けた共同の取組
- ④ 患者搬送システム
 - ・救急車の最適配置による搬送時間の短縮化の検討
 - ・ヘリコプターの活用による搬送の検討
- ⑤ その他但馬地域の医療のあり方に関する事項

協議スケジュール（案）

時 期	協 議 会		ワーキンググループ	
6 月			第 1 回	現状分析方法、 進め方等の検討
7 月	第 1 回	医療資源の状況、 基本的方向性の確認、 今後の進め方 等		
8 月			第 2 ～ 3 回	集約化・重点化の たたき台の検討
9 月	第 2 回	集約化・重点化案の検討		
1 1 月			第 3 ～ 4 回	集約化・重点化案、 連携手法等の検討
2 月	第 3 回	集約化・重点化案、 連携手法等の提案		

※検討の進捗状況に応じ、ワーキンググループ等適宜開催する。